

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第1回坂戸市立図書館協議会
開催日時	令和6年7月31日（水） 午後3時02分 開会 午後4時16分 閉会
開催場所	坂戸市立中央図書館 2階 視聴覚室
議長（委員長・会長）の氏名	委員長 石橋 妙子
出席者（委員）の氏名・出席者数	谷口 義明 石橋 妙子 市川 なお美 高山 かつ子 鴨 由美 貝瀬 由己子 高橋 好次郎 関口 千登世 8名
欠席者（委員）の氏名・欠席者数	服部 菜々子 1名
事務局職員の職・氏名	館長 小林 幸子 課長補佐 植木 昌美 主任 金子 芳広 主任 久保 彰子 4名
会 議 次 第	委嘱状交付（教育長） 1 開会 2 挨拶 3 自己紹介 4 委員長・副委員長の選出 5 報告事項 （1）令和6年度第1四半期利用状況について （2）令和6年度第1四半期実施事業報告について （3）令和6年度第2四半期実施予定事業について （4）令和6年度坂戸市立図書館要覧について （5）その他 6 そ の 他 7 閉会
配布資料	【事前配布】 ・令和6年度第1回坂戸市立図書館協議会次第 ・令和6年度第1回坂戸市立図書館協議会資料 ・令和6年度第1回坂戸市立図書館協議会資料の概要 ・令和6年度坂戸市立図書館要覧 【当日配付】 ・坂戸市立図書館協議会委員名簿

会 議 録

	議 事 の 経 過
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
教育長	委嘱状交付（代表：貝瀬委員）
事務局	1 開会 出席者 8 名。図書館協議会運営規則第 4 条第 1 項の規定により過半数に達しているため、会議の成立を報告する。（傍聴人なし）
教育長	2 挨拶 ※挨拶後、教育長は公務のため退席
各委員、事務局	3 自己紹介 各委員自己紹介、事務局紹介
館長	4 委員長・副委員長の選出 ※委員長が選出されるまで、館長が座長として進行 図書館協議会運営規則第 2 条第 2 項の規定に基づき、委員長及び副委員長は委員の互選によりこれを定めることとなっている。どのような方法がよいか。
委員	指名推薦はいかがか。
座長	指名推薦のご意見をいただいた。指名推薦でよろしいか。
各委員	異議なしの声
座長	推薦はあるか。
委員	委員長に石橋委員、副委員長に高橋委員を推薦する。
座長	石橋委員を委員長に、高橋委員を副委員長に推薦する意見があったがいかがか。
各委員	異議なしの声
座長	石橋委員を委員長に、高橋委員を副委員長に決定する。 以上で座長の任を解かせていただく。

委員長	挨拶
委員長	5 報告事項 (1) 令和6年度第1四半期利用状況について
事務局	事務局説明
委員長	意見、質問を求める。
委員	P 6 電子図書館について、貸出数はわかるが閲覧数とは何か。
事務局	閲覧数とは、貸出を受けた期間内に何回か閲覧するとカウントされる数。例えば、1冊の電子書籍について、貸出期間中に1日目に1ページ目から20ページ目まで読み、次の日に続きを読むとカウントされる数である。
委員	1点のものを数回に渡って何度か繰り返し見ている、ということですね。
委員	電子図書について、契約は利用回数で終わってしまうのか。
事務局	無期限型のコンテンツと期限型のものがあり、両方を契約し購入している。
委員	図書館要覧(P23)のデータによると、14,048タイトルとあるが、この数がずっと増えていく訳ではなく、その時の契約により、次の年に期限が切れたものがあれば減ってしまう訳ですね。
事務局	2年間又は貸出52回までの制限が切れてしまうとコンテンツが1タイトル減ってしまう。
委員長	(2) 令和6年度第1四半期実施事業報告について
事務局	事務局説明
委員長	意見、質問を求める。
委員長	図書館まつりの本のリサイクル市はとても人気で、そのリサイクル市に出す図書は、図書館で廃棄する図書及び一般からの図書の提供は以前

	は結構あったようだが今もあるのか。
事務局	市民からの提供も受付ており、かなり多くお声掛けをいただいている。その中から図書館に蔵書として入れさせてもらう本と市民の方に提供させていただく本を職員で判断し、提供するものは、リサイクル市で提供している。市民の方にもその旨を説明し、了解をいただき受入れを行っている。
委員長	提供いただく冊数は、1冊でも何冊でもよいのか。
事務局	1冊でも何冊でもよい。
委員長	(3) 令和6年度第2四半期実施予定事業について
事務局	事務局説明
委員長	意見、質問を求める。
委員	全ての数字が必ず右肩上がりということはありません。猛暑だとか酷暑だとか不要不急の外出はやめて欲しい、と国が騒いでいる。図書館に行くのも暑いからやめなよ、ということにならないか心配なところである。多少の数が減ったりするのはその時の天候で仕方のないことではないかと思う。これから後、第2四半期の数がどう推移するか心配なところである。今後はこの辺のことを配慮し、まとめられたらよいのではないかと思う。
委員長	コロナの時に図書館で紙芝居とか動画配信をしていたかと思うが、その動画配信は今でも継続しているのか。
事務局	電子図書館の中に動画がアップされており、閲覧可能となっている。
委員長	アップされているのであれば、何かのタイミングで広報してもよいのではないか。
委員	中学校のチャレンジ体験事業が始まったようで、コロナ禍でしばらく出来ていなかったのが嬉しく思う。ここに千代田中学校と書かれているが、他の学校の状況はいかがか。
事務局	希望のあった学校から受入れている。今現在、千代田中学校と8月1

	日まで坂戸ろう学園の生徒を受入れている。今後は住吉中学校の受入れを予定している。
委員	教え子の中には図書館で働いている子もいるので、図書館の仕事について理解が広がっていくとよいと思う。
委員	猛暑になってからの図書館の利用状況はいかがか。
事務局	7月のデータはこれからである。図書館に涼みに来ている方もいるようである。
委員長	確か、図書館も猛暑の時の避難所になっていると思う。
委員	昨年7月のデータから見ると来館者は 10,629 人で8月は 10,767 人となっている。
副委員長	暑いとなかなか本を読む気分にならない時もあるが、図書館に勉強に来る子どもはいると思う。人間の力ではどうにもならないことも世の中沢山ある。
事務局	夏休みということで、お子さんの利用は多い。
委員長	図書館の調べる学習コンクールは、子どもたちは何人くらい参加されているのか。
委員	8人の参加で、皆さん調べるテーマがしっかり決まっていて学生たちもやり易く、お手伝いし易いと思う。
委員長	大学生が支援してくれることにより、レベルアップ出来るのではないかな。 高山委員は、子どもの読み聞かせをやっていると思うが、昨日のブックスタート事業には参加されたのか。
委員	ちいさい子のおはなし会での読み聞かせや、小学校の秋の読書教室に職員と共に「おはなし山」というボランティアグループで参加し、ストーリーテリングをしている。それぞれ皆さんが様々な所で色々なことをされている。
委員長	今回7月30日は本を配布しただけなのか。昔は読み聞かせをやって

	いたが今はやらないのか。
事務局	ブックスタートは、単に絵本を渡すだけではなく、先ず読み聞かせの体験をしていただき、それにプラスして絵本をプレゼントする事業である。昨日は職員４名（正規職員３名、会計年度任用職員１名）で市民健康センターに出向き、絵本の読み聞かせと本のプレゼントを行った。絵本は３種類用意し、その中から好きなものを１冊選んでもらいプレゼントするという形でお渡しした。絵本と合わせて、図書館の利用案内やイベントの案内、ブックリストを一つの布製のバックに入れてお渡しする形で進めさせてもらった。
委員長	以前はボランティアが読み聞かせをしに市民健康センターに行かれていたと思う。一番最初の本への関わりなのでとても大切な事業であると思う。
委員	先程、教育長も話されていたが、この図書館も４０周年になるということで、４０周年のイベント等は単独開催は難しいと思われるが、秋の図書館まつりに併せて冠だけ４０周年を付ける予定はあるのか。この要覧を見ているだけでも昭和回顧に募るものもあるので、要望として、振り返えられるコーナー等があるといいのではないかと思います。
委員長	（４）令和６年度坂戸市立図書館要覧について
事務局	事務局説明
委員長	意見、質問を求める
	意見、質問なし
委員長	（５）その他について
委員長	今まで長い間「図書館だより」を発行されていたが、メインになる方がいなくなり現在休止となっている状況であるが、図書館だよりの発行について、図書館として考えていることがあればお聞かせ願いたい。
事務局	昨年度の協議会でも、皆様方からご意見をいただいております懸案事項になっている。今年度については、発行したいと考えているのでお待ちいただきたい。
委員長	この件について、各委員から何かあるか。

	特になし
委員長	他に何かあるか。
委員	電子図書について、自身もコロナ禍の際に教育委員会に関わったことがあったが、その時電子図書は追い風で予算が付き易く導入し易かったかと思うが、その後利用状況は伸びていないように感じる。現在或いは今後伸ばしていく予定はあるのかお聞きしたい。
事務局	電子図書については、先程も申し上げたとおり、購入したものでも期限付きのものなので、少しずつ購入し、利用数を伸ばして行きたい。 補足説明させていただくが、令和6年度予算を積算するにあたり、財政局には増額要求をさせていただいたが、実際のところは増額が認められなかった。次年度予算についても増額要求していきたい。
委員	今、中学生もタブレットを持っていて、例えば朝の読書会とか総合学習の時に電子版を使うことはあるのか。
委員	学校で電子図書を使っているのを見たことも聞いたこともない。タブレットは確かに使っているが、読書は読書で従来どおりのイメージであるかと思う。
委員長	今夏休みで、自宅にタブレットを持ち帰っているかと思うが。
委員	将来的に、図書館に電子書籍があるということは、いつかは使う場面が出て来る可能性があるので、今のうちに慣れておく、という方法もなくはないが、今のところタブレットを使った読書教育のようなものが入って来ている感じはない。
副委員長	別なことになるが、図書館に来るといつも感心する。1階エントランスホールの展示について、現在はがんについての展示や読書感想文について等、その時期に合わせたものが展示されている。以前、食についての展示をされたことがあったと思うが、この展示が楽しみである。図書館に入って、気が付くのがこの展示であり、いい試みだと思うので是非続けて行って欲しいと思う。
委員	対象別に子どもを中心に色々なイベントが展開されており、素晴らしいことだと思う。職員、ボランティアがやり繰りをしながら計画的に進めている結果だと思う。数値的には先ほども話に出たが、沢山の数字は

	出ないが、数字ではなくて対象別に子どもたちに色々な人の温かさで提供していくことの効果は、公共図書館の場合には必要なことなのだと、今日の報告を見て感じている。大きな数字は出ないかもしれないが、日々の積み重ねがやがては成長していく子どもたちに、図書館を利用して育っていった子どもたちに大きなウエイトとして、いつかは図書館を利用した子どもたちの豊かな成長が見られるのではないかと思う。これは数字では計れないことなので、むしろそういった所に注目したいと報告を見て感じているところである。職員、ボランティアの方々には是非継続していただきたい。
委員	現在、夏休みということで、学習室の稼働率は夏が一番多いのか。
事務局	普段の状況から見ると、テスト期間の利用者は多く、土日は抽選になる場合もあり、夏休みの利用者も多い。稼働率については、図書館要覧の24ページ中段の学習室利用状況をご覧いただきたい。7月から8月の利用者は千人を超えている。
委員長	子どもたちの本との出会い、図書館との出会いは、坂戸の中央図書館を中心とし様々な所に、(願望として) まちかど図書館的な場所があるといいと思う。
委員長	他になれば、以上で議事は終了とする。
事務局	5 その他 (1) 調べる学習コンクールについて (2) 大規模改修設計及びアスベスト含有調査の実施について
副委員長	◆ 城西大学からの提供資料 ・城西大学水田記念図書館報「Book Mark」vol.174 ・福島尚鉄道画展ちらし 副委員長閉会挨拶 6 閉会 ※第2回目の協議会は、10月中旬～下旬に開催予定